

関係各位

佐賀市立南川副小学校  
校長 堤 和隆  
PTA会長 坂井 洋平

## 10月フリー参観デーのお知らせ

仲秋の心地よい季節、保護者や地域の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校教育にご理解いただき、また、子どもたちを温かく見守っていただき、誠にありがとうございます。子どもたちは、秋の修学旅行を控え、楽しみにしながら健康ではつらつとした学校生活を送っております。これからは、季節的にも過ごしやすい時期になりますので、「勉学の秋」として、学習にもより一層力を入れていきます。

さて、「10月フリー参観デー」を下記のとおり の時間割で実施いたします。本年度は、1～2校時に全学年の「学習発表会」(体育館)、3・4校時に「子どもへの暴力防止ワークショップ」(保護者・地域の方対象)を開催いたします。ご多忙中と思われませんが、「フリー参観」に参観・参加していただき、子どもたちの様子をご覧になっていただくようご案内申し上げます。

記

### 1. 期 日 10月28日(日曜日)

\* フリー参観は午前中のみですが、児童は5校時まで授業です。  
完全下校は、15:20です。

### 2. 時 間 (時間割と学習発表会については裏面参照)

朝の時間	8:15～ 8:35	朝の会 【各教室】
1校時	8:40～ 9:25	「学習発表会」 : 全学年 【体育館】 (裏面参照)
2校時	9:35～ 10:20	
3校時	10:40～ 11:25	「子どもへの暴力防止ワークショップ」 (保護者・地域の方対象) 【体育館】
4校時	11:35～ 12:20	
給食	12:20～ 13:05	おにぎり弁当 【各教室等】

### 3. 場 所 南川副小学校体育館・各教室

- ・参観は自由です。どの活動も自由に参観できます。保護者はもちろんのこと、祖父母の方、地域の方々も参加下さい。
- ・授業参観中の私語は謹んでください。ご協力よろしくをお願いします。
- ・車の駐車は運動場です。学校内では一方通行で子供達に気をつけていただくをお願いします。
- ・授業中の携帯電話等の使用(写真撮影、スマホ等の操作、メール配信など)は、ご遠慮ください。

#### 「子どもへの暴力防止ワークショップについて」

佐賀市では、子どもが自尊感情を高め、自分も友だちも大切にできるように、子どもワークショップを実施しています。

それにあわせて、保護者や地域の大人の皆様に向けた、子育て講座(おとなワークショップ)を開催します。子どもへの大人の必要な関わり方について、重点的にお話していただきます。きっと役立つコツがたくさんあると思いますので、ぜひご参加ください。

### お知らせとお願い

- ※ 来校されるときは、地域の方は受付簿に氏名等を記入して下さい。保護者の方は、体育館や教室で名簿に○をつけてください。
- ※ 体育館入り口や各階の廊下にアンケート用紙を設置しております。子供達の様子をご覧いただき、感想等のご記入をお願いいたします。

南川副小学校フリー参観デー授業・活動計画 10月28日(日)

	時間	朝の時間	1・2校時	3校時	4校時	10:40 ～ 12:10	弁当
クラス		学級タイム・健康観察 8時15分  8時35分	8:40～ 10:20 学習発表会	10:40～ 11:25	11:35～ 12:20	保護者は、子どもへの暴力防止ワークショップ(体育館)	12時20分～ 13時05分(おにぎり弁当 忘れないようお願いいたします。)
1の1	教科・活動 場所		劇 『サラダでげんき』	道徳 教室	算数 教室		
2の1	教科・活動 場所		歌・ダンス・詩朗読 『あしたへジャンプ! 2年生!』	道徳 教室	算数 教室		
2の2	教科・活動 場所			道徳 教室	算数 教室		
3の1	教科・活動 場所		歌 『ビリーブ』 『ありがとうの花』 『いつだって!』	道徳 教室	算数 3年1組教室 3階学習室		
4の1	教科・活動 場所			国語 教室	道徳 教室		
5の1	教科・活動 場所		発表 『福祉の学習を通して学んだこと』	家庭科 家庭科室	家庭科 家庭科室		
6の1	教科・活動 場所		発表 『戦争の悲惨さと 平和の尊さ』	算数 教室	道徳 教室		
ひまわり	教科・活動 場所	2年	交流学級 での発表	算数 ひまわり教室	生単 教室・畑		
	教科・活動 場所	4年		算数 ひまわり教室	生単 教室・畑		
	教科・活動 場所	6年		算数 ひまわり教室	生単 教室・畑		
あすなる	教科・活動 場所	1年		道徳 1年1組教室	算数 1年1組教室		
	教科・活動 場所	3年		道徳 3年1組教室	算数 3階学習室		
	教科・活動 場所	4年		国語 あすなる教室	道徳 あすなる教室		
	教科・活動 場所	6年		国語 あすなる教室	道徳 6年1組教室		
【学習発表会について】 8:40 開始:体育館				「子どもへの暴力防止ワークショップについて」 さいごまでやりぬく人になってほしい やさしい人になってほしい 人に迷惑をかけない人になってほしい ・・・と願いはつきないが、 どうやったらよいのか迷うことはありませんか?  保護者として子どもとの毎日の暮らしの中で接し方の基本と、しつづける ときの考え方の順番など具体的にお 伝えする時間です。			
①はじめのことば ②みんなで歌おう(今月の歌) ③学年の発表(前半) 2年→5年 ④トイレ休憩(10分) ⑤学年の発表(後半) 3・4年→1年→6年 ⑥校長先生のお話 ⑦終わりのことば 10:05 ⑧各クラスでふり返り(感想)							

平成30年9月27日

保護者様

佐賀市立南川副小学校  
PTA会長 坂井 洋平  
校長 堤 和隆

## 第1回「おにぎり弁当の日」について(お知らせ)

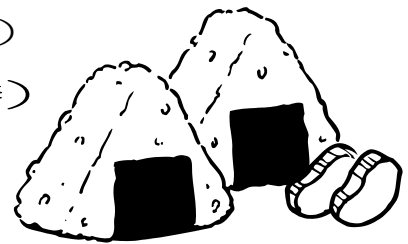
晩秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、フリー参観デーの「おにぎり弁当の日」につきましては、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

### 「おにぎり弁当の日」

1. 期 日 平成30年 10月28日(日)  
(第1回フリー参観デー時)



#### 2. ねらい

- (1) 飽食の現在(いま)、昼食が「おにぎり」だけという日を定め、食べ物の有り難さを親子で考える日に!!(世界中には食事にも満足に摂れない子どもがたくさんいます。)
- (2) 「おにぎり」を作ることで、事前、当日、事後、親子で会話が増えることを期待します。
- (3) 特に、高学年は自分で作ることによって、日頃食事や給食を作ってもらっている人に対して、改めて感謝の気持ちを持つ機会になればと思う。

#### 3. 実施要領

- (1) 当日、給食はありません。**おにぎり**と**漬物の弁当**になります。
- (2) 牛乳もないので、家からお茶を持たせてください。
- (3) おにぎりは、子ども自身が作ったものを持たせてください。  
(低学年で、自分が作れない子どもは事前に練習させるのもいいですね。)
- (4) おにぎりの中の具は、自由にします。
- (5) 分量については、子どもが食べきれない個数など、親子で話し合ってください。



# 前向きな子どもとの向き合い方

佐賀市では小学3～5年生を対象に、CAP 子どもワークショップという授業を実施しています。子どもが自尊感情を高め、自分も友だちも大切にできるように、CAP スペシャリストの先生方が、役割劇や話し合いなどからなる授業をクラスごとに行います。

子どもワークショップにあわせて、保護者や地域の大人の皆様に向けた、子育て講座（おとなワークショップ）を開催します。子どもが受けた授業をより効果的なものとするために、大人の必要な関わり方について、重点的にお話していただきます。きっと役立つコツがたくさんあると思いますので、ぜひご参加ください。

※CAPワークショップは、佐賀市が（一般社団法人）さが子どもにやさしいまちづくりセンターに委託し、佐賀市のすべての小学校を2グループに分けて、隔年で実施しています。

日時：平成30年10月28日（日） 10：40～12：10

会場：南川副小学校体育館にて行います。

しっかり働ける人になってほしい  
さいごまでやりぬく人になってほしい  
やさしい人になってほしい  
人に迷惑をかけない人になってほしい  
誰とでも仲良くなれる子でいてほしい  
・・・と願いはつきないが、どうやったらよいのか  
迷うことはありませんか？

保護者として子どもとの  
毎日の暮らしの中で  
接し方の基本と、しつづけるときの  
考え方の順番など  
具体的にお伝えする時間です。

もうイライラ  
したくない！



ほめられることを  
してほしい!?



大人の言うことを  
聞いてほしい・・・



講師：一般社団法人さが子どもにやさしいまちづくりセンター所属「CAP スペシャリスト」2名

「CAP（キャップ）スペシャリスト」とは…

子どもがいやなことや怖いこと、事件やトラブルに巻き込まれずに成長できるように子ども自身に学校の授業で教える資格を持つ“予防教育”の専門家です。昨年度は佐賀、福岡、熊本の三県で492回の実施実績があります。平成7年から子どもの被害を予防する活動を継続しています。

主催：佐賀市 こども家庭課

佐賀市子どもを守る地域ネットワーク（佐賀市要保護児童対策地域協議会）

# ～保護者ワークショップ参加者 の声から～

○具体的な言葉・動作、大変ためになった。

子どもがワークショップを終えた後、子どもとじっくり向き合ってみたいと思う。

暴力を振るわない子どもたちが社会で育つのではないか。

うまく説明できないが、感謝と感動でいっぱい。

○子どもに対して接し方を変えようかな、と気づかせてもらうよい機会になった。

○毎日に追われ、一番大事なことを忘れていた。

今日のワークショップはとても共感できた。また機会があれば参加したい。

○反抗期の娘に対し、自分の接し方に迷いがあったが、今日の話聞き、娘の話にもっと耳を傾け、共感し、「ふ～ん」「へえ～」と話を聞いてみようと思う。

○今日はいじめの話かと思ったが、さまざまな暴力があること、起きていることを知り驚いた。

○子どもが嫌だったことを話してくれたとき、いつも「イヤって言いなさい。」とばかり言っていた。

「イヤ」と言えなかったことに気づくことができよかった。

○子どもと接するとき、つい大人目線になりがちだったが、子どもの成長に合わせる事が大事と思った。

子どもだけでなく、親にも知識が必要。子どもも1年生なら親も1年生。

「どうしよう」と思うことが多くある。参加してよかった。

○子育て世代の親とは違う立場で子どもたちに関わっている大人の一人として、改めて子どもたちに寄り添う大切さを感じた。

○内容が具体的で、子どもにも日常起こりうる事の参考例で、とてもわかりやすかった。

子どもは自分で力を持っている。ちょっとしたサポートを。再確認した。

さまざまな被害は、子どもが問題だから起こるのではありません。子どもの周りに問題があるからです。いっしょに考えましょう！！

CAPワークショップについてもっと知りたい方は、「にじいろグループ」のホームページをごらんください。

(<http://www.niji-iro-group.jimdo.com>)